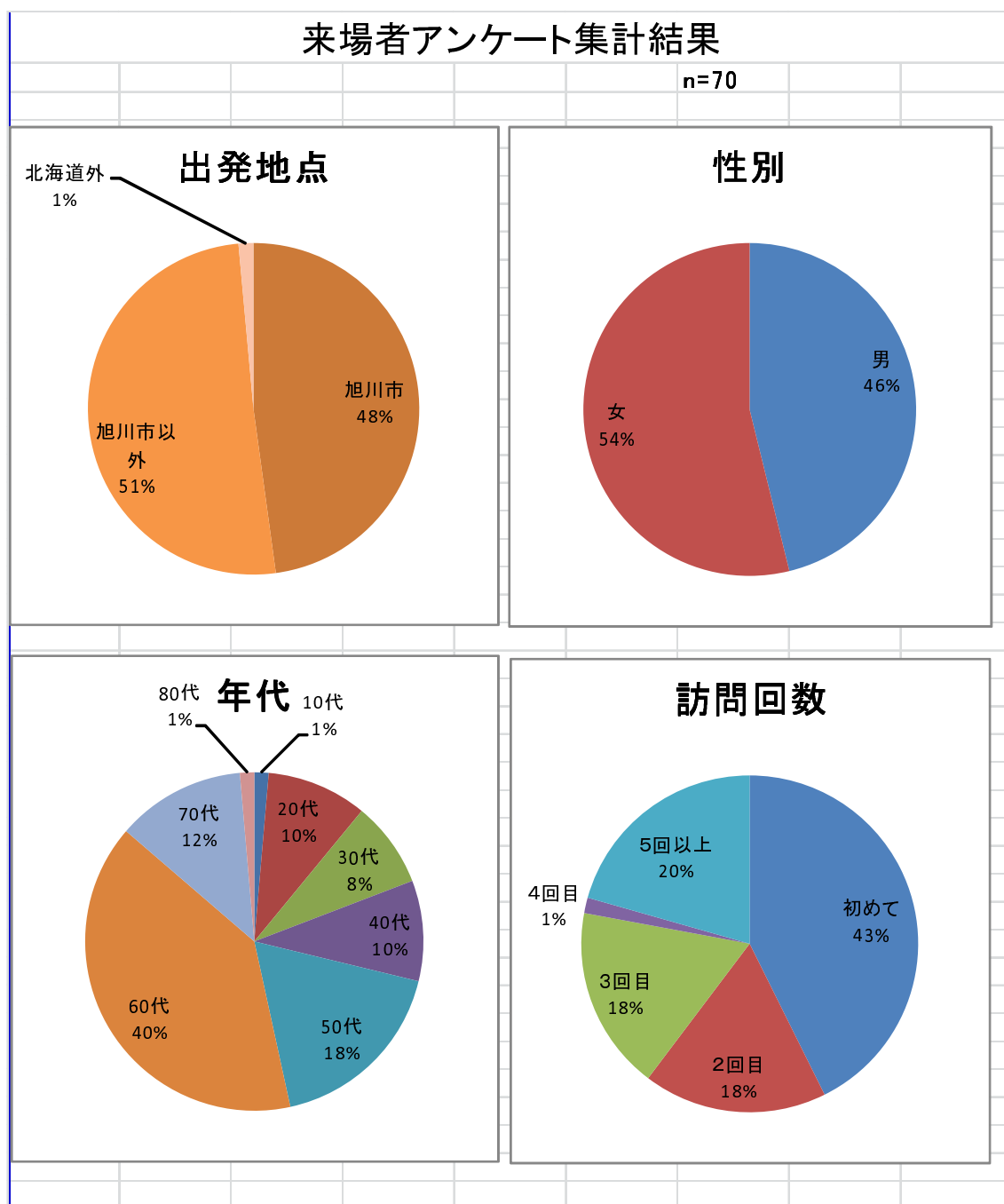


2012 年 花案内人 まとめ

もりねっと北海道

2012年4月28日から5月6日まで、花案内人総勢 21 名（受講者 13 名）で、300 名以上の来訪者を案内しました。実施後のアンケートや感想をまとめました。



●対応人数

4月28日(土)	晴れ	案内人3名	対応人数13名	(午後記録無し)
4月29日(日)	晴れ	案内人4名	対応人数15名	(午前9名、午後6名)
4月30日(祝・月)	晴れ	案内人4名	対応人数42名	(午前29名、午後12名)
5月1日(火)	晴れ	案内人5名	対応人数25名	(午前12名、午後13名)
5月2日(水)	晴れ	案内人4名	対応人数51名	(午前16名、午後35名)
5月3日(木)	??	案内人4名	対応人数42名	(午前29名、午後13名)
5月4日(金)	曇り	案内人4名	対応人数33名	(午前16名、午後17名)
5月5日(土)	曇り/雨	案内人4名	対応人数23名	(午前23名、午後0名)
5月6日(日)	晴れ/雨	案内人5名	対応人数80名	(午前80名午後雨)

計=324名の対応

●花案内人が気づいた点

- ・谷渡りルートに行った人のほとんどが「カタクリがいっぱいで歩くのが大変だった」という感想。谷渡りを案内する時も、気を使った。
- ・4月30日(連休の最後)は午前がピークだった。
- ・ガイドの数に余裕があれば、男山側(南折り返し)に一人いてもよい。
- ・キクザキイチゲ・アズマイチゲの区別わからず。何十年みてもポケットと歩いていると覚えていないことに気づく。主体的にやらねばならない。ガイドを通して気づくことができた。
- ・ニリンソウ、エンレイソウなどカタクリ以外に関心のある方もいました。
- ・ガイドマップを持たずに上がってくる方が多いので、スタッフが持っていた方がよい。
- ・鏡を使った見方はうけました。
- ・家族連れを多く見かけた。
- ・男山から南折り返しへ歩いてくる人も多かった。

●来訪者の主な感想

- ・谷渡りルートの出入り口がわからない、わかりにくかった。
- ・谷渡りルートのお花を踏みそうになって残念
- ・ガイドさんの導きにより、楽しい散策が楽しむことができました。とてもいい企画、ガイドだと思います。本当にありがとうございました。
- ・自然のすばらしさに感動しました。赤紫や青、黄色の自然草はとても美しいです。案内されなければ上まで登らず帰ったと思います。

●全体を通しての反省点、気づいた点

- ・花案内人勉強会を拡大したほうがいいのではないか。2 時間は短く忙しい、内容も良いものなので、花案内人希望者に限定しないで、突哨山に関心がある人も対象に入れて実施してみてはどうか。勉強会に参加してみて花案内人を希望する場合もあると思う。
- ・突哨山駐車場に、現在位置や入山口の場所、花案内人を実施していること等をまとめた張り紙があると良い。
- ・状況を見て、カタクリ広場にも案内人がいてもいいのでは。
- ・ネームが頻繁に裏返るので、首紐を太くして欲しい。

●アンケートで 2013 年の花案内人希望者を確認したところ、21 名から「やってみたい」と返答がありました。希望者には案内を郵送します。旭川市内の方は内 11 名。他は札幌、空知、岩見沢。

★2011 年と 2012 年の比較

●2011 年の受講者、24 名
2012 年の受講者、13 名

●2011 年：旭川市民 56%、旭川以外 25%、北海道外 19% n=43
2012 年：旭川市民 48%、旭川以外 51%、北海道外 1% n=70

●年代

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	
2011年	5	3	12	5	22	29	17	7	%
2012年	1	10	8	10	18	40	12	1	%

●入山回数

	初めて	2回目	3回目	4回	5回以上	
2011年	51	23	9	3	14	%
2012年	43	18	18	1	20	%